

連合山形「2016新春旗びらき」を開催

— 正念場を迎える年、安倍政権の暴走政治に歯止めを！ —

1月5日、連合山形・連合山形地域協議会合同開催による「2016新春旗びらき」が大手門パルズにおいて開催され、約300名が集まり新たなスタートを誓い合いました。

主催者を代表し挨拶に立った連合山形岡田会長は、「今年は正念場の年。その取り組みの第1は、働く者の賃金引上げと雇用の安定に向けた取り組み。第2は、地方重視、国民生活を重視する政策を訴え要求していく取り組み。第3に、安倍政権の暴走政治に歯止めをかけるべく、参議院選において、比例区では連合推薦候補の全員当選と県選挙区では推薦決定した舟山やすえさんの必勝に向けて取り組んでいこう。」と挨拶をしました。

来賓を代表し、吉村美栄子山形県知事、佐藤孝弘山形市長、吉村和武民主党県連幹事長、広谷五郎左エ門社民党県連代表代行の4名より祝辞をいただき、来賓者による鏡開きのあと、森田啓司山形労働局長の発声で乾杯を行いました。

祝宴の後、連合山形岡田会長と連合山形地域協議会細谷議長によるガンパロー三唱で、連合運動のさらなる前進を誓い、団結を確認しました。



2016連合山形春闘討論集会

日時：2016年2月3日(水) 14:30 会場：大手門パルズ

年 頭 挨拶



連合山形会長
岡田 新一

新年おめでとうございます。

安倍政権が誕生して3年が経過しました。日本経済は、デフレから脱却できず、昨年4月以降マイナス成長に陥り、特に地方と中小企業には波及効果が少ないアベノミクスは破綻したといえます。

そこで、政府は昨年、新たに少子高齢社会に挑むためとして、「新3本の矢」(GDP600兆円、希望出生率1.8、介護離職ゼロ)を唐突に掲げました。さらに、「一億総活躍社会」という、わけが分からず実態の見えない社会像を打ち出してきました。これは、まさに、アベノミクスが破綻したことから国民の目をそらすとともに、政権の維持・延命を狙ったものです。したがって、大事なことは、安倍政権の維持・延命策としての政策ではなく、国民生活の維持・改善に向けた政策を実現させることではないでしょうか。

第一に、賃金引上げと雇用の安定です。安倍首相は、今年の春闘においても経済界に対し賃金引上げを要請しました。2013年春闘から4年連続の賃金引上げ要請であり「官製春闘」と揶揄されるゆえんです。この間の春闘では、地方や中小企業の賃金は、大都市や大企業との格差が拡大する一方であり、「官製春闘」の限界が明らかになっています。企業全体の9割を占める中小企業に働く労働者の賃金引上げがなければデフレ脱却や格差是正はあり得ません。連合山形としては、中小企業労働者の賃金引上げ・格差是正に全力を挙げて取り組みます。そのために、中小企業労組に対する支援・連携を強化しながら個別労使交渉を強めるとともに、経営側との対話を強め、行政に対しては一層の中小企業支援を求めています。また、地域活性化に向けた「地域フォーラム」を開催しながら春闘の社会的役割を広げていきます。

第二に、「給付型奨学金制度の導入と教育費負担の軽減」を求める取り組みです。昨年山形県労働者福祉協議会として、連合山形と連携して取り組んでいます。大学の学費高騰と家計収入の減少により、今や大学生の2人に1人が何らかの「奨学金」を利用し、不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ、返済できない人たちが増加しています。

こうした状況が続けば、貧困の連鎖にとどまらず、「中間層」も結婚・出産・子育てが困難となり、少子化や人口減少を加速することとなります。未来を担う若者を全体で支え「持続可能な社会」にするために、奨学金制度改善と教育費負担軽減の取り組みを連合としても強めていきます。

第三に、政治闘争の取り組みです。とりわけ、今年7月の参議院選挙について、昨年秋の通常国会での労働者派遣法改悪や安保法問題など安倍反動政治・暴走政治に歯止めをかけるとともに、国民生活や地方を大事にする政治の実現に向けたたたかいです。政治は私たちの働き方や暮らしと直結しています。たとえ、「政治に無関心であっても、決して政治と無関係にはなりえない」のが現状です。政治の振り子を揺らすのは私たち有権者の投票行動です。

そのために、比例代表について、各産別組織内推薦候補全員の必勝に向けて連合総体の力を発揮して取り組みます。

県選挙区について、連合山形としては非自民でまとまったたたかい得る候補者として、「舟山やすえ」さんを推薦して闘うことを決定しました。民主党が無所属候補として擁立した「舟山やすえ」さんについて、民主党・社民党と連携し、今の安倍自民政権では「ダメ」という有権者を総結集して勝利しなくてはなりません。そして、解散もあり得る衆議院選挙や県知事選挙につなげていこうではありませんか。

今年は、実り多き年になりますようご祈念申し上げ、挨拶とします。



連合会長
神津里季生

新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げますとともに、日頃からの連合運動に対するご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

現政権は、立憲主義や民主主義の基本に対し極めて傲慢な姿勢をとり続け、労働者保護ルールの改悪をはじめ、働く者を経済成長の手段としか見ない政策を進めようとしています。こうした政治に対する社会的な対抗軸を組織内外に広く訴え、「上から目線」の政治からの転換と「底上げ・底支え」「格差是正」を実現しなければなりません。新たに開始した「クラシノソコアゲ応援団! 2016RENGOキャンペーン」を通じて、春季生活闘争、組織拡大、政策・制度実現の活動、そして与党一強状態を打破するための政治の取り組みを連動させることが極めて重要です。

その上で、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた連合運動への理解と共感の輪を広げるべく、それぞれの立場で強く発信・行動していきましょう。

本年も、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

連合山形「2016春季生活闘争方針」を決定！ 一月例賃金の引上げにこだわり、2%以上の賃上げを！

連合山形は、2016春季生活闘争方針について決定し、月例賃金にこだわる闘いを進め、賃金カーブ維持相当分を確保し、過年度物価上昇分はもとより、生産性向上分、格差是正分としての賃金改善分2%以上の要求を掲げ、「底上げ・底支え」「格差是正」に全力をあげる、としました。

また、各課題の具体的取り組みとして、(1) 運動の両輪としての政策・制度の実現の取り組み、(2) 非正規労働者の労働条件改善等の取り組み、(3) 男女平等参画社会実現に向けた取り組みと均等待遇の実現、(4) ワーク・ライフ・バランス実現のための取り組み、(5) ワークルールの取り組みを掲げています。

【ミニマム設定額】

年齢	2016年設定額
18歳	147,300円
20歳	150,900円
25歳	163,000円
27歳	168,800円
30歳	178,000円
35歳	193,800円
40歳	208,400円
45歳	219,800円

1. 「地域ミニマム運動」への取り組み

地域間や企業間の格差是正と県内賃金水準の底上げをはかり、低賃金県からの脱却をはかるために、最低基準（ミニマム）を設定し、県内では「これ以下では働かない。働かせない」運動を展開していく。

2. 連合山形の賃上げ要求内容

- (1) 2015年連合山形中小組合賃金実態調査結果より、平均賃金248,400円の2%は約5,000円であるが、連合加盟組合全体平均賃金水準の2%相当額が6,000円であることから、その差額1,000円を格差是正分として上乘せした金額6,000円を賃上げ水準目標とする。

賃金カーブ維持分 + 賃上げ6,000円以上

- (2) 賃金カーブ維持分の算定が可能な組合は、その維持原資を労使で確認する。
 (3) 賃金カーブ維持分の算定が困難な組合は、賃金カーブ維持相当分を4,300円とし、4,300円+賃上げ6,000円の10,300円以上を要求する。
 (4) 年齢ポイントごとの「標準到達目標」および「最低到達目標」は右のとおり。

【連合山形の標準到達目標】

	全産業
20歳	172,400円
25歳	213,400円
27歳	229,400円
30歳	252,600円
35歳	289,000円
40歳	321,600円
45歳	349,700円

【連合山形の最低到達目標】

	全産業
20歳	157,900円
25歳	181,100円
27歳	190,700円
30歳	205,100円
35歳	228,100円
40歳	248,600円
45歳	265,000円

- (5) 非正規労働者の時間給目標額および引き上げ目標額
 ① 時間あたりの賃金目標値【山形県の連合リビングウェイズ額（法定労働時間数換算）】 850円以上（昨年同額）
 ② 引き上げ額 37円（昨年同額）

2016年度「政策制度要求」について 県所管担当との意見交換

12月24日、「連合山形政策制度確立委員会と県関係部署との意見交換会」を開催した。県への要請書については、2015年11月16日に吉村知事に提出していますが、この意見交換会は、県への要請行動をより内容深いものにしていくため、雇用労働、行政改革、産業・環境政策、社会保障、教育政策の5部会からなる委員会の委員と県の所管担当とが要請項目について意見交換を行い、要請内容を2016年度の県の政策での実現をめざすものです。

当日は、1部会40分という限られた時間のため、1部会要請2項目についてのみの意見交換でしたが、より具体的な内容についての話し合いがなされました。



第24回参議院選挙

山形選挙区に舟山やすえ氏を推薦決定！

連合山形は、2016年7月25日任期満了の第24回参議院通常選挙（県選挙区）について、持ち回り執行委員会（12月15日付）を開催し、2015年12月17日に舟山やすえ氏（49歳、無所属、元職）を推薦することを決定しました。

舟山氏は、出席した連合山形「2016新春旗開き」において、「今の安倍政権のやり方では、地域社会は決して良くならない。安倍政権はおかしいという声をしっかりと今、出していかなければ、山形県が発展することにならない。先頭に立って、山形の声、地方の声を、地方の底力をしっかりと見せていきたい。そんな思いで立候補を決意した。一緒に素晴らしい山形を、未来に誇れる日本を創っていきましょう。」と力強く決意表明し、参加者から熱い拍手が送られていました。

舟山やすえ氏の当選に向けて、全構成組織組合員一丸となって選挙戦に取り組んでいきましょう。

現在、自民党は山形食品（南陽市）前社長の月野薫氏（60）、共産党は党県委員会青年学生対策委員の石山浩行氏（34）の擁立を発表しています。

【プロフィール】

1966年5月 埼玉県越谷市生まれ
1990年3月 北海道大学農学部卒業
1990年4月～2003年3月
農林水産省経済局国際部、近畿農政局等勤務
2000年4月 結婚、山形県小国町へ
2007年7月 第21回参議院選挙 初当選（山形県選挙区）
2009年9月～2010年9月
農林水産大臣政務官
2013年7月 第23回参議院選挙 252,040票獲得するも惜敗
小国町で農業に携わる傍ら
2014年8月～ （一社）置賜自給圏推進機構常務理事



連合山形シンクタンク(一社)山形県経済社会研究所 「第43回定時総会」・「年報発表会」を開催

12月14日、連合山形のシンクタンクである(一社)山形県経済社会研究所の第43回定期総会と年報発表会が大手門パルズにおいて開催されました。

総会では、2015年度の事業報告ならびに会計決算報告、2016年度事業計画ならびに収支予算について承認され、新任理事として熊澤年啓全労済山形県本部長と連合山形の副会長に就任された森伊織氏、伊藤学氏、井上雄吾氏、金子浩氏、伊藤幹男氏、丹野忍氏が新たに選出されました。

総会后、2015年度に発行された年報の発表会が開催され、山形大学人文学部准教授の戸室健作氏より「東北各県における貧困率の推移」、連合総研主任研究員の麻生裕子氏より「連合山形を中心とする地域活動の展開」、朝日新聞山形総局の米澤信義氏より「学校統廃合がもたらすもの—規模と論理と『教育県山形』の多様性」と題した講演が行われました。



第43回定時総会



戸室健作氏



麻生裕子氏



米澤信義氏

2016春闘に向けた「産別懇談会」を開催



2016春闘を前に、1月8日大手門パルズにおいて、民間労組の産別代表者が集まり、(一社)山形県経済社会研究所の高木郁朗顧問がコーディネーターとして、各産別の2016春闘をめぐる情勢や方針、重点取り組み課題、政策課題についての懇談会が開催されました。

今春闘においては、格差是正に向けて、2%以上の賃上げを目標に、きめ細やかな指導を各組合にしていかなければいけないなどの意見が出されました。

出席者は、浦瀧靖裕自動車総連山形地協事務局長、佐藤修一JAM南東北山形県連事務局長、角谷俊一U Aゼンセン山形県支部長、井上正則電機連合山形地協事務局長、丹野忍情報労連山形県協議会議長、中川賢一交通労連山形県支部事務局長、青木孝典運輸労連山形県連書記長、高木郁朗(一社)山形県経済社会研究所顧問、立松潔(一社)山形県経済社会研究所所長、梅津庸成(一社)山形県経済社会研究所専務理事、岡田新一連合山形会長、館内悟連合山形副事務局長、柏木実連合山形組織広報部長。

訂正とお詫び

前号(2015年11月27日発行No.121号)におきまして、連合山形青年委員会と連合山形女性委員会の役員名に誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。

名前訂正 連合山形青年委員会 幹事 岡本 朗 → 岡本英朗

追加訂正 連合山形女性委員会 副委員長 小松 諒子(電機連合/東北パイオニア労組) 新任

ろうきんは働く仲間のライフプランを応援します。

ふるさと奨学ローン

ご融資金額 最高**1,000**万円

ご融資期間 最長**10**年（固定金利）

お使いみち 入学金や授業料、仕送りなど、ご本人やご親族の方の教育費用

利子補給制度

「ふるさと奨学ローン」利用のお子さまが、卒業後山形県内に就職または就業したときに、（公財）山形県勤労者育成教育基金協会から利子補給されます。

※利子補給には一定の要件がございます。詳しくはお近くのろうきん窓口まで。

口座開設特典



図書カード 500 円分 & オリジナル通帳ケースプレゼント！

- ◆実施期間/2015年4月1日（水）～2016年3月31日（木）
- ◆対象者/学生の方（ふるさと奨学ローン資金使途対象の方）
※高校・大学・専門学校等への入学・在学の方を対象とします。
- ◆対象取引/普通預金の口座開設（キャッシュカード発行をセットした口座）
- ◆ご挨拶プレゼント/学生1名につき図書カード1枚（500円分）とろうきんオリジナル通帳ケース1個を進呈いたします。

※店頭でご希望に合わせたご返済額の試算をいたします。※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。※店頭にて説明書をご用意しております。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

2016年1月4日現在

かなえる、チカラ。支える、チカラ。

東北労働金庫山形県本部

☎ 0120-1919-62

ZENROSAI NEWS

0615B061



住まいの備えは全労済の
住まいる共済で安心。

全労済の
住まいる共済

火災共済・自然災害共済
東北労働金庫火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済山形県本部 〒990-0827 山形市城南町1-18-22
（山形県勤労者共済生活協同組合） TEL 023-646-4666（代）



頼れる窓口

営業 9:00～17:00
（土・日・祝日除く）

中央支所 〒990-0827 山形市城南町1-18-22
TEL.023-646-4666

酒田支所 〒998-0843 酒田市千石町2-13-16
TEL.0234-23-3160

米沢支所 〒992-0012 米沢市金池3-2-7
TEL.0238-22-6065

新庄支所 〒996-0084 新庄市大手町5-6
TEL.0233-23-5995

鶴岡支所 〒997-0033 鶴岡市泉町8-73
TEL.0235-23-6100

長井支所 〒993-0006 長井市あら町5-36
TEL.0238-83-6035